



## 平成22年度 農林水産大臣賞

自然と笑顔が人と人を繋ぐ、グリーンツーリズムの町ふるさと大森

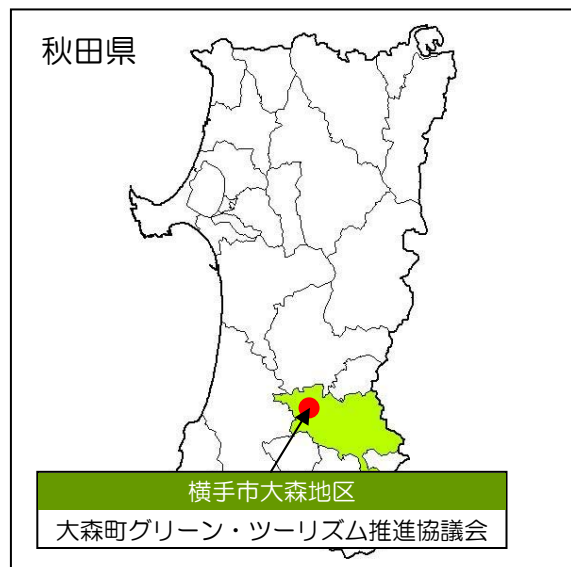
おおもりまち すいしんきょうぎかい  
『大森町グリーン・ツーリズム推進協議会』

(秋田県横手市 大森地区)

### 【むらづくりの経緯・動機等】

◆大森地区は横手市の北西端に位置し、周囲を出羽丘陵の山林で覆われた地域である。◆この地域では、従来から役場が仲介者となり行ってきた都市部の消費者との交流活動に加え、平成4年には、地域内の生活改善グループの主要メンバーを集めて「大森地域生活研究グループ協議会」を設立し、都市と農村の交流活動を積極的に行ってきた。◆さらに平成11年には、消費者との交流活動をきっかけに「味美会」を発足し、農産物宅配活動も開始している。◆これらの活動の積

### ＜位置図＞



み重ねから、グリーン・ツーリズムの活動体制を確立したいとの気運が高まり、数回のヨーロッパ視察等を経て、平成14年に、同協議会のメンバーを中心とした「大森町グリーン・ツーリズム推進協議会」を設立し、修学旅行生等の農業体験受入を中心に、都市との交流活動や農産物の宅配等、幅広い活動を展開している。

### 【推進体制】

◆「子どもたちを商売道具にはしない。大森のまごころのこもった受入を！」をモットーに活動している。◆体験の受入依頼等の情報は、横手市大森地域局を窓口にして受け付け、会長に情報が集約される。◆会長は、協議会幹部と相談の上、受入の割り振りを行う等、30名のメンバーを仕切っている。◆受け入れに当たっては、地域の宿泊施設、NPO法人、造り酒屋等と連携しながら、広がりをもったメニューを提供している。

### ＜地区の概要＞

事項	内容
地区の規模	旧市町村単位の集団（8集落）
組織の性格	機能的な集団
農家率 (内訳)	54.8 % (総世帯数 2,043 戸) (農家数 1,119 戸)
販売農家数 (内訳)	944 戸 (専業農家 108 戸) (1種兼農家 92 戸) (2種兼農家 744 戸)
主要作目 (作付面積)	水稲 ( 1,080 ha) 野菜 ( 114 ha) 果樹 ( 80 ha)

資料：秋田農林水産統計年報(H17年)

※旧大森町のデータ

### 【農業生産面への寄与状況】



◆農業体験の受入や味美会の宅配活動、農産物加工品の製造・販売活動により、農家収入の増加につながっており、喜びややりがいも感じられるようになった。◆会員が活動する加工所では、米粉加工品等を製造しているほか、秋田県の伝統食「こざき練り（※）」を現代風にアレンジした「恋咲」を商品化しており、平成21年度秋田県特

産品開発コンクールで奨励賞を受賞している。◆平成21年には、会員の一人が新たな取り組みとして、横手市では第1号となる農家民宿を開業したほか、平成22年には、県事業を活用して「棚田オーナー募集ツアー」も開始しており、農地保全にも一歩踏み込んだ新たな協議会の活動として、今後の展開が注目されている。

### 【生活・環境整備面への寄与状況】

◆体験者を受け入れることにより、地域内をきれいな状態にしておこうという意識が芽生え、農家・非農家関係なく地域ぐるみで地域内の美化活動を進めている。◆また、町の出身者が定年後に町に戻り、自家菜園を活用して協議会活動に参画している例もあり、地域に人を呼び込む動きも見られるようになった。◆農作業体験に加え、地元



食文化の紹介や乗馬体験など、年々活動メニューが増えていることがリピーターの増加にも繋がり、県内ではグリーン・ツーリズムのモデル的な存在となっている。

#### ※ こざき練り

すりつぶしたもち米を煮て、砂糖と酢で味付けした秋田県の伝統食。キュウリやフルーツをトッピングして冷たくして食べるのが一般的。県内では「あさづけ」や「粉なます」と呼ぶ地域もある。

